

教科	地理歴史		科目	地理 A	単位数	2
学年	3 年		類型	情報ビジネス科・国際経済科		
教科書 (出版社)	新詳地理B(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)					
副教材 (出版社)	地理ワークブック (愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会 地理部門)					
授業の概要	教科書と副教材をもとに授業を展開する。地名は地図帳で確認し、空間的な認識を深めるとともに、グラフや図表などの資料の活用力の向上を図る。またワークブックでの作業を通じて、地理的技能の育成を図る。					
授業の目標	現代世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
年間 学習 計画	学習内容 (単元・項目)			学習目標		
	1 学期	1 地上の現象と地球上の位置 2 グローバル化が進む世界  3 人間生活を取り巻く環境 (1) 人々の生活と国境		<ul style="list-style-type: none"> <li>地球儀と世界地図の比較、略地図の描図などを通して、地球表面の大陸と海洋の形状や各国の位置関係、方位、時差および日本の位置と領域などについてとらえる。</li> <li>交通・通信の発達、人や物の国際間の移動などに関する資料の収集、分析などを通して、諸地域間の相対的な位置、距離関係が変化し、人々の地理的視野が拡大するとともに国家間の結合や国際貿易などが活発化、複雑化していることをとらえる。</li> </ul>		
	2 学期	(2) 人々の生活と気候 (3) 人々の生活と産業・文化  4 世界の諸地域の生活。文化 (1) 産業の発達と変化		<ul style="list-style-type: none"> <li>世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けて追究し、生活・文化を地理的に考察する視点や方法を身に付けるとともに、異文化を理解し尊重することが必要であることについて考察する。</li> </ul>		
	3 学期	5 地球的課題と私たち		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境、資源エネルギー、人口、食料及び居住・都市問題を地球的及び地域の視野から追究し、地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解し、それらの課題の解決に当たっては各国の取り組みとともに国際協力が必要であることについて考察する。</li> </ul>		
観点別 評価	関心・意欲・態度		思考・判断・表現		資料活用 of 技能	
	地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究しつつ、国際社会の一員としてその責任を果たそうとしている。		地理的事象から課題を見だし、地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。		地図や統計、画像などの資料から情報を選択・活用して地理的事象を追究する技能を身に付け、考察した過程や結果を適切に表現する。	
備考	4つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。					

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	3
学年	3年	類型	商業科		
教科書(出版社)	改訂版 詳説日本史B (山川出版)				
副教材(出版社)	プロムナード日本史 (浜島書店)				
授業の概要	教科書に沿って本文の内容(日本史概観)を理解する。その中で、単に歴史用語を暗記するのではなく、歴史的背景や展開、歴史的意義の理解を図る。				
授業の目標	わが国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、わが国の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を養い、国民としての自覚と国際社会で平和を愛する日本人としての資質を養う。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	7 幕藩体制の展開 2年次より継続 (1)幕政の安定 (2)経済の発展 (3)元禄文化 8 幕藩体制の動揺 (1)幕政の改革 (2)幕府の衰退と近代化への道 (3)宝暦・天明期の文化・化政文化 9 近代国家の成立 (1)開国・幕末の動乱 (2)明治維新・富国強兵 (3)立憲国家の成立 と日清戦争 (4)日露戦争と国際関係 (5)近代産業の発展 (6)近代文化の発達	以下の項目に関して、近世武士社会の熟成・衰退・終焉と近代国家の幕開けを理解する。 ・幕政の安定と近世日本の熟成した社会・文化について理解する。幕府と諸藩の改革の特徴を理解する。 ・列強の接近と幕府の衰退を理解する。 ・開国と幕末の動乱の推移を理解する。 ・明治維新の意義と帝国憲法の特徴を理解し、東アジア情勢を考察する。 ・日清・日露戦争の経過と意義を理解する。 ・資本主義社会の成立と発展を理解する。		
	2 学期	10 二つの世界大戦とアジア (1)第一次世界大戦 (2)ワシントン体制 (3)市民生活の変容と大衆文化 (4)恐慌の時代 (5)軍部の台頭 (6)第二次世界大戦 11 占領下の日本 (1)占領と改革 (2)冷戦の開始と講和 12 高度成長の時代 (1)55年体制 (2)経済復興から高度成長へ	以下の項目に関して、日本のファシズムへの道と戦争の惨禍、および戦後社会について理解する。 ・両世界大戦への参加した理由と朝鮮・中国への権益の拡大について理解する。 ・恐慌の背景とその対応について理解する。 ・ファシズム体制の成立過程を理解する。 ・戦後の民主化推進について理解する。 ・保守長期政権の成立と国際関係について理解する。		
	3 学期	13 激動する世界と日本 (1)経済大国への道 (2)冷戦終結と日本社会の変容	以下の項目に関して、現代日本の課題を理解する。 ・経済大国から経済的停滞になる過程と日本の国際的役割について理解する。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
	日本の歴史の概観への関心と課題意識を深め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きるようとする資質を養う。	日本の歴史から課題を見だし、文化の多様性と現代社会の特質を多面的・多角的に考察するとともに、公正に判断する。	日本の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通し、歴史的事象を追究する方法を身に付ける。	日本の歴史についての基本的な事柄を、世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	
備考	4つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				

教科	地理歴史		科目	地理 B	単位数	3
学年	3 年		類型	国際経済科・商業科		
教科書 (出版社)	新詳地理B(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)					
副教材 (出版社)	パワーアップ整理と演習(帝国書院) 最新地理図表GEO (第一学習社) 地理ワークブック (愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会 地理部門) 地理統計要覧 (二宮書店)					
授業の概要	教科書と副教材をもとに授業を展開する。ワークブックでの作業を通じて地理的技能を磨く。また、統計要覧などを活用し世界の諸地域の特徴を考察するとともに、図表を活用し視覚的にイメージが湧くよう心掛ける。					
授業の目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。					
年間 学習 計画	学習内容 (単元・項目)			学習目標		
	1 学期	4 資源と産業 (6) 世界の工業 (7) 第3次産業 (8) 世界を結ぶ交通・通信 (9) 現代世界の貿易と経済圏 2 人口、村落・都市 (1) 世界の人口 (2) 人口問題 (3) 村落と都市 (4) 都市・居住問題 3 生活文化、民族・文化 (1) 生活文化 (2) 民族と宗教		<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の工業、流通、消費などに関する諸事象について、それらの分布や動向などについて考察するとともに、世界の中での日本の貿易や経済の現状と課題を考察する。</li> <li>交通や通信の発達による一体化と地域性を考察する。</li> <li>世界人口の分布の特徴や動態、人口構成や人口転換を考察する。</li> <li>村落と都市について、村落・都市の立地や発達・機能や、日本の都市の特徴を考察する。</li> <li>衣食住について、分布や地域的差異を考察するとともに、民族と宗教について、生活との関わりを考察する。</li> </ul>		
	2 学期	(3) 現代世界の国家 (4) 民族・領土問題 1 現代世界の地域区分 2 現代世界の諸地域 (1) 地誌の考察方法 (2) 東アジア (3) 東南アジア (4) 南アジア (5) 西アジアと中央アジア (6) 北アフリカとサハラ以南のアフリカ (7) ヨーロッパ (8) ロシア (9) アングロアメリカ (10) ラテンアメリカ (11) オセアニア		<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界の民族・領土問題を大観し、日本の民族や領土、世界各地の民族の共生についての課題を考察する。</li> <li>地域概念や地域区分の目的、意義を理解する。</li> <li>地誌を考察する方法として、世界の諸地域を多様な事象を項目ごとに整理して考察する方法、特徴ある事象と他の事象を有機的に関連づけて考察する方法、対照的な又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法があることを理解する。</li> <li>世界の中の日本という視点で、さまざまな事象を対比することによって、国際社会に有為な人材としての資質を身に付ける。</li> </ul>		
	3 学期	3 現代世界と日本		<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界における日本の特徴について、多面的・多角的に考察し、日本が抱える地理的な諸課題を探究する活動を通して、その解決の方向性や将来の国土の在り方について考察する。</li> </ul>		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解		
	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その課程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。		
備考	4つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。					